

善衆会病院看護部 卒後教育

教育目標

1. 組織における自己の位置づけと役割を自覚できる。
2. 患者および家族に質の高いケアが提供できる。
3. 自ら学ぶ姿勢をもち、自己啓発ができる。

当院の目指す看護職員像

1. 人の生命および人権を尊重し、個々の権利・ニーズを考えられる職員。
2. 人の痛みや悲しみ、喜びなどを感じられ、相手の立場も考えられるような人間性をもった職員。
3. 専門職業人として生涯継続学習をし、自己の能力の開発または自己啓発の姿勢をもつ職員。
4. 患者・家族はもちろんのこと、患者を取り巻くすべてのことに目を向け、患者のために行動できる職員。

1、 臨床実践能力習熟度段階をレベルⅠからレベルⅣで表すクリニカルラダー

成長過程に合わせた教育内容を通して、主体的に学ぶ姿勢を養うことをねらいとする。新卒者以外の看護師に対しては、本人のレディネスを考慮して決定する。臨床看護能力の構造はⅠ. 看護職員として必要な基本姿勢と態度、Ⅱ. 技術的側面、Ⅲ. 管理的側面の3つの構造からなるものである。

レベルⅠ

卒後1年目を対象とする。新卒看護師が臨床実践の場において原則を理解し、基本的な看護実践能力を身につけ、患者に安全な看護が提供できるようにする。

レベルⅡ

卒後2年目とレベルⅠ修了者を対象とする。習得した知識、技術を活用し、アセスメント能力を高め、個別的で継続した看護が提供できる。

レベルⅢ

卒後3年目とレベルⅡ修了者を対象とする。メンバーシップを発揮しながらリーダーとしての役割を果たすことができる。

レベルⅣ

レベルⅢ修了者と看護師経験4年目以上の看護師を対象とする。役割モデルとして、実践している看護が後輩に与える影響を考えながら行動することができる。

2、 臨床指導者を養成するための研修

プリセプター研修

卒後3年目以上で、今年度及び今後プリセプターを担当する看護師を対象とする。プリセプターに対して教育的に関わることができ、自律した看護師として成長できる。

3、 管理教育：管理研修

看護師長・主任・副主任を対象とする。病院組織における看護管理の基本理念を理解し、管理能力を養うことをねらいとする。

看護協会研修：認定看護管理者研修ファーストレベル・セカンドレベルを受講する。

4、 専門教育：実践研修

臨床工学技士、介護福祉士、看護補助者、准看護学生を対象にした教育。

看護チームの中での各々の役割を認識し、適切なケアを行う能力を養うことをねらいとする。

1) 臨床工学技士研修

生命維持監視装置の動向などに関する情報収集や、関連分野の知識を取得することにより、専門的知識及び技術の向上を支援する。また、医療チームの中で役割が発揮できる能力を養う。

2) 介護福祉士・看護補助者・准看護学生研修

看護補助者として必要な知識、技術、態度を養う。また、チームの一員としての役割を果たす能力を養う。

准看護学生1年生はOJTで行い、教育担当者は副主任とする。